



1. 全中貿・極東ロシア経済交流派遣団2018 完了報告書・・・・・・・・・・

名 称	極東ロシア経済交流派遣団 2018
日 程	平成 30 年 8 月 19 日 (日) ~8 月 24 日 (金) 6 日間
訪 問 先	極東ロシア ハバロフスク、ウラジオストク
主催団体	一般社団法人 全国中小貿易業連盟
協力団体	日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部、 (一財)貿易・産業協力振興財団 (I T I C)
内 容	<p>1. 参加者：23名 2. 成果等：</p> <p>【---ハバロフスク---】 ① 日本センター訪問</p> <p>石島所長の説明：日本センターは外務省の外郭団体で非営利法人。ロシア国内に6ヶ所あり、ジェトロとも協力関係にある。業務内容は、日本語の講座、ロシア人の日本での研修、企業の紹介、ビジネスマッチング等。 全ロシアの人口は、1億4千6百万人超だが、極東ロシアの人口は、現在642万人、年々減少傾向にある。ハバロフスク地方の産業は、石油の精製、森林業で、コモンモール、アムール地区は造船、飛行機、工業関係の企業が多い。 ハバロフスク市の企業は中小企業が大部分で、小売販売が主たる業種。 日本企業は、大手商社の他、SUMITEC、住友林業、サミットモーターズ（トヨタ系）等進出。現地での日本のプレゼンスが高く、日本への信頼度は極めて高い。</p> <p>② 現地企業との交流会</p> <p>日本センターの紹介で5社のロシア企業が参加した。医療関係の他、日本からの食料品、日用品などの輸入、日本向け家畜の飼料や木材の輸出、ビジネス支援企業などが参加し、日本側の派遣団員と活発な意見の交換が行われた。日本に対して、新しい医療技術の紹介や、生活環境や食生活の改善についての指導を期待しているとの発言があり、又一般的に、日本の支払い条件が厳しいので、この緩和を求めたいとの意見もあった。</p> <p>③ バルチカビール工場見学</p> <p>同ビール工場は、1982年設立、10年後の1992年に初めての製品を出荷した。現在ロシア最大のビール工場であり、ビールの数は、40種類、その他の飲料17種を製造、販売している。バルチカビールは、国内全土に6工場を有しており、カールスバーグのビールも受託製造中。 工場内をひととおり案内してもらい、見学会の最後に同工場製造の各種ビールの試飲をさせてもらった。</p>

内 容	<p style="text-align: center;">【---ウラジオストク---】</p> <p>④ 日本センター訪問</p> <p>同センターの向井所長から日本センターの活動の他、ロシアの歴史や、ロシア社会の特徴、日本企業の動向、ロシアとの文化交流等について説明を受けた。要点は以下の通り。:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ロシアは人を信用しない社会で、納税の意識が薄く、脱税者が多い。 ■会社の設立は簡単であるが、日本の企業が進出するのであれば、モスクワかウラジオストクを推薦したい。 ■ロシアの政策金利は 7.25%で、企業への貸出金利は 12%程度。日露投資ファンドから円建のトゥ ステップ ローン（現地銀行経由ローン）の利用が可能で、金利は 3.2%位。但し為替リスクの問題がある。 ■今年は「ロシアにおける日本年」また「日本におけるロシア年」であり、両国間で沢山の文化交流がある。（ボリショイバレエ、日本の歌舞伎、歌やコンサート等） <p>② ベルケンコ市長訪問</p> <p>団長より全中貿と団員の紹介の後、日本とロシアとの歴史的な関係、日本の中小企業の実態等について説明があった。 ベルケンコ市長より以下の発言があった。:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■20 年前に日本を訪問し、日本の生活、文化、哲学を知り、それ以来親日家になった。日本に学ぶ事が多く、自分の会社を「相撲取り」と命名した。 ■貿易のみならず、ウラジオストクへの中小企業の進出を歓迎する。 日本からの投資は全ての分野で歓迎するが、特に観光や交通機関、インフラへの投資を歓迎する。ロシアでは土地の所有が可能であり、税法上の優遇制度もある。 マツダが撤退すると言う風評は、根も葉もない事で、今後も事業を継続する事は明らかである。 ■2016 年の安倍総理とプーチン大統領との間で決めた、8 項目の経済協力のプランの実現に、大いに期待している。 <p>③ 現地企業（貿易通関業者）との交流会</p> <p>ASIA-VED 社（物流会社で輸出入代行、通関を手掛ける会社）の西川マネージャーとマキシム代表が参加し、主として西川氏（コンサルタントも兼務）より以下の説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ロシアの物流のシステム、流れについて、又日本からロシア（極東）への輸送方法、輸送経路、必要な通関書類等について。 ■ASIA-VED 社の代行業者としての活動について。 ■ロシアとビジネスを進めるうえでの留意点について。（トップ同志の話が重要、パートナーの人選が重要、人脈作りが大切） ■西川氏としては、今まで出来なかった事を全中貿の会員と実現したいので、同氏よりどんな事でも相談して欲しいとの要望があった。
その他	<p>今回の経済ミッションで、日本センター、ASIA-VED 社、またロシア企業といくつかのビジネスについて話し合いが行われ、今後の進展が期待される。</p>



ハバロフスク 日本センターでの
現地企業との交流会



ハバロフスク日本センター 石島所長



ウラジオストク ベルケンコ市長他幹部



ベルケンコ市長と伊藤団長

ウラジオストク 日本センターでの説明会

ウラジオストク日本センター 向井所長





ハバロフスク 日本人墓地



スパソ・プレオブラジェンスキー大聖堂
(ロシア正教)



ウラジオストク
金角湾の黄金橋

ロシア最大の
バルチカビール工場の見学



ロシアの豹

JETRO

日本貿易振興機構（ジェトロ）

「高度外国人材の活用」エキスパート 支援サービスのご紹介

「新輸出大国コンソーシアム」専門家による個別支援サービス

「新輸出大国コンソーシアム」とは、政府系機関、地域の金融機関や商工会議所など国内各地域の企業支援機関が幅広く結集し、海外展開を図る中堅・中小企業等に対して総合的な支援を行う体制です。

「高度外国人材の活用」 エキスパートによる支援サービスとは

海外展開を目指す中堅・中小企業様の高度外国人材の採用・定着をサポートするため、全国各地でのワークショップを開催、また個別相談での助言、指導を行います。

＜対象者＞

海外展開のためのブリッジ役となる、高度外国人材の採用・定着を検討、導入している中堅・中小企業様（審査はありませんが、コンソーシアムへのエントリーが必要となります）



ワークショップ開催予定

全国で順次開催予定です！
※最新のスケジュールはジェトロホームページのイベント情報をご覧ください。

★過去のプログラム★

- I 「高度外国人材の採用」
- II 「育成・定着の取り組み」
- III 「在留資格の手続き」
- IV 「異文化マネジメント」

※なお、個別相談は随時受け付けております。



ワークショップの様子



個別面談の様子

お問い合わせ・お申し込み

最寄りのジェトロ事務所、または
新輸出大国コンソーシアムホットラインまで
(Tel: 0120-95-3375)

＜ご利用にあたって＞

本サービスは無料でご利用いただけます。
本サービスのご利用後は、アンケートへの回答をお願いします。

<個別相談における支援例>

在留資格切り替えの
流れや基本的な手続き
についてのアドバイス

高度外国人材の募集
方法、応募者数を増やす
ポイントをアドバイス

受入れ体制の整備、
定着に繋がる事例紹介

異文化マネジメント
輸出/進出・赴任先国の人材
に関するコーチング

「高度外国人材の採用・定着」エキスパートの紹介

原 正紀

専門分野: HRM(人材マネジメント)、キャリア論、経営論
※中小企業診断士、株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役

久保田 学

専門分野: 産業・労働政策(グローバル人材)、外国人材の採用・定着領域、
プロジェクト・マネジメント
※一般社団法人 留学生支援ネットワーク事務局長

綾戸 高志

専門分野: 人材コンサルティング(グローバル人材採用、入社前育成、入社後定着支援、
入社後活躍支援、受入態勢構築等)

小口 隆夫

専門分野: 外国人の在留資格及びこれに関連する制度面
※行政書士

太田 洋子

専門分野: 入国管理法、知的財産関連法
※行政書士、弁理士

海老 博子

専門分野: 人材サービス、外国人採用、手続き、教育
※職業紹介責任者、株式会社パソナ所属

西田 忠康

専門分野: 企業における人材育成及び組織開発、人材マネジメントに係るコンサルティング
※サイコム・ブレインズ株式会社 代表取締役社長

金栗 雅実

専門分野: グローバル人材育成に関するコンサルティング、コーチング、トレーニング
※Hofstede異文化マネジメント認定トレーナー

(資格の手続きや書類作成業務の代行等は、ジェトロでは承っておりません)

▶本ニュースに関するご照会・ご意見等は、全中貿事務局（大洋株式会社内）鹿内 までお願いします。

全中貿事務局 TEL/ 06-6443-5810 E-MAIL / zenchubo.jimukyoku@jافتa.jp